

「障害者差別と配慮の事例集」について

■令和3年度・4年度に協議会で検討した事例

- ① 「やまぐち障害者等専用駐車場」が利用したくても、利用証のない車がとまっていることもあり、使えないことが多々ある
- ② 重度自閉症(発達障害児)が所在不明になった時の警察官の対応
- ③ 失語症の人が、スムーズに言葉が発せないことを指摘・罵倒され嫌な気持ちになった。
- ④ 学習会(講演会)で、講話の録音が不可であり、視覚障害者のための配慮がなされていなかった。
- ⑤ 不動産店で物件を探すときに療育手帳を提示したら「統合失調症の人の入居は断る」とお断りされた。
- ⑥ 盲ろう者に対する通訳(コミュニケーション方法)に関して、周囲に理解してもらえていない。(音声通訳時の音量やコロナ禍でも接近してお触手話が必要なことなど)
- ⑦ 医療機関で、手話がコミュニケーション手段なのに、コミュニケーション手段の確認がされず、筆談で対応された。
- ⑧ 聴覚障害者が車の運転中、拡声器での警察車両からの停止を求める指示が聞こえず追尾されて停車したが、その後の警察官の対応が面倒くさそうで不愉快な思いをした。
- ⑨ 電車内で、車椅子(バギー型の車椅子)を使用している児童とその家族に対し、ベビーカーと思われるのか車椅子で乗車しているのを迷惑がられた。

■事例集に挟み込みを予定している事例

上記番号の①・③・⑥・⑨

① 障害者等専用駐車場について

専用駐車場を設置している目的や利用可能な人を説明し、みなさまのご理解とご協力を求める内容を記載する

③ 失語症について

失語症の症状や特性などについて説明し、失語症の人がどのような思いをされているのかを記載する

⑥ 盲ろう者のコミュニケーション手段について

個々のコミュニケーション手段の必要性和視覚障害・聴覚障害の程度による多様なコミュニケーション手段(方法)を記載する

⑨ 車椅子(バギー型の車椅子)について

移動手段である車椅子の必要性和車椅子の種類などを記載する